

令和7年度 第2回山陽小野田市地域公共交通会議 次第

日 時 令和8年1月8日（木）14時～

場 所 山陽小野田市市民館2階 第1・2会議室

1 開 会

2 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業（幹線系統）に係る事業評価について 資料1

(2) 地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー系統）に係る事業評価について 資料2

3 報告事項

(1) J R厚狭駅におけるエレベーターの整備について 資料3

(2) J R小野田線の実証事業について 資料4

(3) J R美祢線の状況について 資料5

(4) 船鉄バスのダイヤ改正について 資料6

(5) 船鉄バスへのキャッシュレス決済機器の導入について 資料7

4 その他

5 閉 会

令和 8 年 1 月 8 日

中国運輸局長 様

山陽小野田市地域公共交通会議
会長 榊原 弘之

令和 7 年度 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統確保維持費
国庫補助金）に係る事業評価の送付について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成 23 年 4 月 1 日国総計第 5 号、
国鉄財第 4 号、国自旅第 20 号、国海内第 8 号、国空環第 5 号）に基づき、令和
7 年度地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）の
事業評価を実施したので、事業評価票等を送付します。

<問い合わせ先>

（住 所）山陽小野田市日の出一丁目 1-1

（担当部署）山陽小野田市経済部商工労働課

（電話番号）0836 - 82 - 1150

（FAX 番号）0836 - 83 - 2604

（メールアドレス）shoukou@city.sanyo-onoda.lg.jp

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月8日

協議会名: 山陽小野田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
サンデン交通(株)	下関駅～小月駅・小野田駅～おのだサンパーク	<p>引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響下にあります。路線の再編見直し等により底を打った感があります。</p> <p>R06.10.1より運行システムの整理、運番削減等をさらに推し進め、2024年問題への対応等効率的な運行に努めた。</p> <p>割引切符を整理統合した「サンデン1dayパス」開始(平日も福岡線を除く全線利用可能)、ICカード「ニモカ」と各種「フリー定期」の周知、利便性の向上と収入増に努める。</p> <p>その他、小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題バスへの免許返納者向け割引の設定(内容:免許返納日より1年以内の方1000円割引)、小学生へのバス乗り方教室実施、下関市生涯学習課主催「出前講座」に登録しバス乗り方教室の実施、等により、バス利用促進をPRした。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送量・収支率ともに計画値を達成、輸送量15人/日は維持された。(収支率△3.3%)	<p>引き続きICカード「ニモカ」の周知拡大を図り、利便性の向上を目指すとともに経費削減に努める。</p> <p>併せて令和3年6月以降バスカード廃止。令和8年5月までバスカードの払い戻しを実施する。</p> <p>事業改善のため、国庫補助系統ほか状況に応じて運行系統の見直しを行う。</p> <p>令和7年8月23日より運賃改定実施、今後の収支改善に努める。</p> <p>引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。</p> <p>また、関係市と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、スマートフォン決済の推進により、利用者の拡大に力を入れていく。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
船木鉄道(株)	船木～本山岬 船木～サンパーク～本山岬 船木～労災病院～本山岬 船木～労災病院～サンパーク～本山岬 船木～サンパーク～刈屋～本山岬 船木～市民病院～サンパーク～刈屋～本山岬	乗務員不足の影響でR6年10月に大幅な減便を実施した。それに伴い路線の再編を行った。宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 経常収益は06年度(14,019千円)、07年度(17,254千円)となり目標を達成でき、輸送量15人/日も維持された。	バスの利用促進につながるよう、時刻表の改善や乗り方教室の実施等を通じたバスのPRに努めるとともに、バスロケーションシステムの活用や、キャッシュレス決済機器やデジタル定期券を導入し利便性の向上を図る。
	船木～宇部市役所	乗務員不足の影響でR6年10月に減便を実施した。宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 経常収益は06年度(23,894千円)、07年度(24,809千円)となり目標を達成でき、輸送量15人/日も維持された。	
	厚狭駅～宇部中央 厚狭駅～サンパーク～宇部中央 厚狭駅～労災病院～宇部中央 厚狭駅～労災病院～サンパーク～宇部中央	R6年10月にダイヤ改正を行い利便性の向上を図った。宇部市主催の路線バス100円デーへの参加、バス教室の実施し公共交通の利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 経常収益は06年度(18,648千円)、07年度(19,280千円)となり目標を達成でき、輸送量15人/日も維持された。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
宇部市交通局	小野田線 小野田営業所～大学病院前～常盤町二丁目	<p>路線維持のため、バス停車表の停留所掲示や時刻冊子の配布など、PRIに取り組んだ。</p> <p>路線バス100円デー(宇部市主催)への参加や、感謝デー(全線1乗車100円)の実施により公共交通の利用促進に取り組んだ。</p> <p>主に小学生に乗り方教室を実施し、生活交通路線の利用促進に取り組んだ。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 事業計画に位置付けられた目標(収支率1.0%改善)を達成できなかったが輸送量15人/日は維持された。 経常収支率44.86%	<p>引き続き、バス利用促進につながるよう、時刻表の改善や各種イベントへの参加、乗り方教室の実施等により、PRIに努める。</p> <p>バスロケーションシステムの改善や、SNS等を活用した情報発信を強化していく。</p>
	西ヶ丘日赤線 西ヶ丘～ゆめタウン宇部～日赤前	<p>バスロケーションシステムによる情報提供の充実に努めた。</p> <p>ICカード利用促進のため、紙式回数券の廃止や乗継割引の拡大を実施した。 JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 事業計画に位置付けられた目標(収支率1.0%改善)を達成できなかったが輸送量15人/日は維持された。 経常収支率53.63%	<p>ICカード利用率向上のため、乗り方教室など、直接体験できる機会を増やしていく。</p> <p>宇部市の政策により市内の小中学生のバス運賃が無料化しているが、親世代含めてバスの利用方法がまだ浸透できていない。全世帯(特に親世代)をターゲットに利用方法を周知させる必要あり。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月8日

協議会名: 山陽小野田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
サンデン交通(株)	計10両(ノンステップバス 10両)導入 令和03年度導入分=2両 令和04年度導入分=2両 令和05年度導入分=2両 令和06年度導入分=2両 令和07年度導入分=2両 国道線、西市線 美祢線、北浦線 仙崎線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A 計画通り事業は、適切に実施された。	A ノンステップバス保有比率が令和7年9月末時点で100%(185両)に到達した。	今後は引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を維持していく。
船木鉄道(株)	ノンステップバス4両導入 令和4年度導入分=1両 令和5年度導入分=1両 令和6年度導入分=1両 令和7年度導入分=1両 本山線 宇部線 厚狭線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 令和7年9月末時点でノンステップバスの比率が94.4%(34両)となった。	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。
宇部市交通局	ノンステップバス11両導入 令和3年度導入数=1両 令和4年度導入数=2両 令和5年度導入数=3両 令和6年度導入数=3両 令和7年度導入数=2両 新山口線 阿知須線 小野田線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 令和7年9月末時点でノンステップバスの比率が75.44%(43両)となった。	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月8日

協議会名：	山陽小野田市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>山陽小野田市では、鉄道や路線バス、コミュニティバス等が運行されており、地域住民の日常生活における移動手段の確保を図っている。幹線交通のバスの路線網はJR小野田駅やJR厚狹駅を中心に、おおむね放射状に形成されており、路線バスで対応できない周辺部にはコミュニティバスが支線の役割として運行し、市民生活の交通手段としての役割を果たしている。</p> <p>しかしながら、本市の幹線交通の系統は自家用車の普及や人口減少・少子高齢化等で利用者が減少する中、自治体や事業者の運営改善だけでは路線の維持が難しい状況となっている。また、バス利用者の減少により、事業者の経営状況が悪化し、赤字路線の廃止や運行回数の減少等利用者サービスの低下を招き、それがまたバスの利用者離れとなる悪循環が生じている。</p> <p>さらに、こうした中、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年以降、バスの輸送人員が大きく減少しており、バス事業者においては、極めて厳しい経営環境に直面する中、事業の継続に向けた取組が喫緊の課題となっている。</p> <p>学生、高齢者や障害者などのマイカーを持たない、あるいは、利用することができない人々にとっては、通勤、通学、買い物や通院などの社会生活を送るにあたり、安全・安心・快適な交通手段の確保・維持は極めて重要である。また、近年は過疎地域に加え、都市圏郊外においても急速に高齢化が進む中、地域の公共交通であるバス系統を維持・確保していくことが必要である。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、幹線交通の路線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要であり、今回、当該計画において認定申請する地域間幹線系統は、地域の中核的な医療機関や学校、市役所支所等の公共施設など利用者のニーズに対応しているものである。</p> <p>本協議会としては、今後も、市民が安心して社会生活をおくり、積極的に社会参加でき、活力ある地域へとつながるよう、複数市町にまたがる広域的・幹線的なバス系統の確保・維持に引き続き努めるとともに、県と市町において維持に努める地域的・支線的なバス系統との接続を図ることとする。</p>

事業者名	サンデン交通株式会社
------	------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(令和7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考
						計画	取組実績	
山陽小野田市地域公共交通会議	3	山陽国道線	下関駅	小月駅	おのだサンパーク	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①全国相互利用可能なICカードシステム(ニモカ)導入、利便性向上を図り、利用者の増、特に外国人旅行者の集客を目指す。</p> <p>②乗車券電子決済による販売促進を図る</p> <p>③GTFSによる情報提供、こちらの周知を図り利用促進につなげる</p> <p>【実施主体】サンデン交通株</p> <p>【効果目標】①②③の実施により収支率47.82より1.0%改善を目指す</p>	<p>①令和3年3月6日、ICカード「ニモカ」導入利用者の利便性は向上した。周知の徹底を図る</p> <p>②乗車券電子決済アプリ『ばすもり』に続き『乗換案内』アプリ導入、販売促進に努める。</p> <p>③GTFSの情報提供と利用促進に努めた</p> <p>【取組効果】①②③の結果、収支が△76,524,344円、収支率は44.51%になりました</p>	

事業者名	船木鉄道株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(令和7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考
						計画	取組実績	
山陽小野田市地域公共交通会議	1	本山線	船木	山陽小野田市民病院・中川通・労災病院・サンパーク	本山岬	【取組内容及び実施時期】 ①山陽小野田市の再編実施計画にのっとり運行 ②キャッシュレス決済システム、デジタル定期券システムの導入 【実施主体】 船木交通㈱ 【効果目標】 収支改善1%	①山陽小野田市の再編実施計画にのっとり運行 ②キャッシュレス決済システム、デジタル定期券システムの導入 【取組効果】 06年度 経常収入14,019千円 経常費用40,744千円 収支率34.4% 07年度 経常収入17,254千円 経常費用48,080千円 収支率35.8% となり目標を達成することができた。 ②について導入が間に合わず目標の達成ができなかった	
	2	宇部線	船木	宇部駅	宇部市役所	【取組内容及び実施時期】 ①宇部市再編実施計画による等間隔運行の実施 ②キャッシュレス決済システム、デジタル定期券システムの導入 【実施主体】 船木交通㈱ 【効果目標】 収支改善1%	①宇部市再編実施計画による等間隔運行の実施 ②キャッシュレス決済システム、デジタル定期券システムの導入 【取組効果】 06年度 経常収入23,894千円 経常費用42,417千円 収支率56.3% 07年度 経常収入24,809千円 経常費用45,845千円 収支率54.1% となり目標を達成することができなかった。 ②について導入が間に合わず目標の達成ができなかった	
	3	厚狭線	厚狭駅	山陽小野田市民病院・中川通・労災病院・サンパーク	宇部中央	【取組内容及び実施時期】 ①宇部市再編実施計画による等間隔運行の実施 ②キャッシュレス決済システム、デジタル定期券システムの導入 【実施主体】 船木交通㈱ 【効果目標】 収支改善1%	①宇部市再編実施計画による等間隔運行の実施 ②キャッシュレス決済システム、デジタル定期券システムの導入 06年度 経常収入18,648千円 経常費用40,646千円 収支率45.8% 07年度 経常収入19,280千円 経常費用45,868千円 収支率42.0% となり目標を達成することができなかった。 ②について導入が間に合わず目標の達成ができなかった	

事業者名	宇部市交通局
------	--------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(令和7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R6年度比 収入増減額	対R6年度比 費用増減額	R6年度 収支率	R7年度 収支率
						計画	取組実績					
山口県生活交通確保維持改善協議会	5	小野田線	小野田営業所	大学病院前	常盤町二丁目	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムを活用した利用促進策の実施(デジタルサイネージの追加導入) ・「宇部市地域公共交通再編実施計画」による路線再編、等間隔運行の実施 ・ICカードシステムを活用した利用促進策の実施 ・JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売 <p>【実施主体】 宇部市交通局</p> <p>【効果目標】 収支改善率 1.0%(参考R5年度収支率 49.1%)</p>	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」について、宇部市役所庁舎のサイネージを、新たに竣工したバス停付近の新庁舎に移設し、利便市の向上を図った。 ・ICカード利用促進のため、「高齢者向けバス乗り方教室」を実施し、高齢者のICカード利用率向上に取り組んだ。 <p>【取組効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」アクセス数 令和6年10月～令和7年9月 153,410件 一日平均アクセス数 420件/日(昨年度 456件/日) ・ICカード実績(R7.9月時点) 利用率 41.1%(前年同月41.9%) <p>【系統の収支改善率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善率 ▲4.3% 収入+340千円 費用+3,539千円 ・R7年度収支率 44.8% 		▲ 1,951	1,439	53.1%	44.8%
〃	6	西ヶ丘・日赤線	西ヶ丘入口	ゆめタウン宇部	日赤前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムを活用した利用促進策の実施(デジタルサイネージの追加導入) ・「宇部市地域公共交通利便増進実施計画」による等間隔運行の実施 ・ICカードシステムを活用した利用促進策の実施 ・JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売 <p>【実施主体】 宇部市交通局</p> <p>【効果目標】 収支改善率 1.0%(参考R5年度収支率 49.5%)</p>	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」について、宇部市役所庁舎のサイネージを、新たに竣工したバス停付近の新庁舎に移設し、利便市の向上を図った。 ・ICカード利用促進のため、「高齢者向けバス乗り方教室」を実施し、高齢者のICカード利用率向上に取り組んだ。 <p>【取組効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」アクセス数 令和6年10月～令和7年9月 153,410件 一日平均アクセス数 420件/日(昨年度 456件/日) ・ICカード実績(R7.9月時点) 利用率 41.1%(前年同月41.9%) <p>【系統の収支改善率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善率 +5.1% 収入+2,278千円 費用+2,405千円 ・R6年度収支率 53.6% 		1,538	931	48.6%	53.6%

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

山陽小野田市地域公共交通会議 地域公共交通計画(地域間幹線系統)の概要

協議会の構成員

・山陽小野田市 山口県 船木鉄道(株) サンデン交通(株) 宇部市交通局 西日本旅客鉄道(株) 小野田第一交通(株) 山陽小野田タクシー協会 山口運輸支局 宇部国道維持出張所 宇部土木建築事務所 山陽小野田警察署 市民 学識経験者

協議会の開催状況

2回 (うち書面審議0回)

【事業の目的・必要性】

本市の幹線交通の系統は自家用車の普及や人口減少・少子高齢化等で利用者が減少する中、自治体や事業者の運営改善だけでは路線の維持が難しい状況となっている。また、バス利用者の減少により、事業者の経営状況が悪化し、赤字路線の廃止や運行回数の減少等利用者サービスの低下を招き、それがまたバスの利用者離れとなる悪循環が生じている。バスは地域住民の身近な公共交通機関であり、とりわけ高齢者や児童・生徒、障害者などの移動手段として不可欠であることから、路線の維持・確保が必要である。生活交通は貴重な地域資源であり、まちづくりの基盤というべき重要な役割を果たしていることから、活性化を図っていき生活バス路線を維持・活性化していく必要がある。

【事業の区域】

・山陽小野田市全域

【事業の目標と効果】

目標: 地域公共交通計画の最終目標(令和9年度)に繋げる。

○利用者数

市内を運行する路線バス、コミュニティバス、デマンド型交通の年間利用者数 770 千人/年

○収支率

市内を運行する路線バス、コミュニティバスの収益率 33,0%以上

○公的負担額

路線バス等の維持にかかる市民一人当たりの財政支出額の2,468 円/年以下

効果: 地域で生活する移動制約者の生活に必要な不可欠な交通手段の確保等

山陽小野田市

令和7年度分

事業者数

系統数

車両減価償却費 車両数

3

6

25(5)

* 車両減価償却費車両数の()は、当該年度に購入した車両数(内数)

この1年間の 利用者・地域住民の意見の反映

○公共交通会議等で地域住民からの意見を聴取し、事業者と連携して、運行系統の改善・見直し等を実施

<対応等>

・通勤、通学、通院、買い物等に利用できる路線バスは必要不可欠な移動手段であり、また、今後の運転免許返納の増加等に対応するためにも、維持・活性化に努める必要がある。

・地域間幹線系統の維持は、コミュニティ交通との接続の面からみても最重要課題であり、引き続き利便性向上に向けた取組が必要

・利便性向上を望む声に対応するため、バスロケーションシステムや交通系ICカード、キャッシュレス決済機器の導入及びPRに努めている。

・地域住民のニーズに沿ったダイヤ設定や利用実態に即した効率的なダイヤ編成に努め、利便性の向上及び経常収支率の改善を図っている。

・利便性の高い公共交通の構築を図るため、バスのみではなく、あらゆる交通モードが連携し、利用者ニーズに対応している。

・低床バスの導入については、高齢化が進む利用者の安全性及び利便性が向上することから、引き続き計画的に導入していく。

事業の適切性

○事業は概ね計画通り、適切に実施された。

目標・効果達成状況

①利用者数

目標「市内を運行する路線バス、コミュニティバス、デマンド型交通の年間利用者数770,000人／年」に対し、725,319人／年となり目標を下回った。

②収支率

目標「市内を運行する路線バス、コミュニティバスの収益率 33.0%以上」に対し、40.1%となり目標を上回った。(収入137,518千円 ÷ 運行経費342,956千円 ÷ 40.1%)

③公的負担額

目標「路線バス等の維持にかかる市民一人当たりの財政支出額の2,468円/年以下」に対し、2,118円／年となり、目標を上回る公的負担額となった。(年間財政支出 124,696千円／年 ÷ 住民基本台帳人口 58,871人 ÷ 2,118円／年)

今後の改善点

○交通事業者・行政の連携により、必要不可欠な幹線系統が維持されるよう、関係者の合意形成を図る。

○利用促進に加え、運転士不足への対策を検討し、幹線系統の維持に努める必要がある。

○バスロケーションシステムの導入や路線バス等の公共交通情報のデジタル化を進め、利便性の向上に繋げる。

取組事例 1

路線バスの利便性向上の取組

○わかりやすい時刻表の作成

市内を運行する複数のバス会社のダイヤを整理して、わかりやすくまとめた時刻表を作成し、公共交通の利用促進に繋げていく。

○バスロケーションシステムの導入

バスの待ち時間の把握や経路検索が可能なバスロケーションシステムの導入やデジタルサイネージの整備を進め、利用者の利便性向上を図る。

○交通系ICカードやキャッシュレス決済機器の導入

地域住民の日常生活における利便性の向上と観光需要の喚起を図るため、県内路線バスにおける交通系ICカードやキャッシュレス決済機器の導入を進める。

路線バス・コミュニティバス
時刻表
(令和7年11月16日版)

■路線バス

- 山陽小野田市内（船本鉄道）
 - 船本～本山 1
 - 勝定台～理科大 5
 - ひばりヶ丘～叶松団地 7
- 宇部・美神方面（船本鉄道、宇部市交通局）
 - 厚狭駅～小野田駅～宇部中央 9
 - 小野田営業所～宇部新川駅～常盤町二丁目 11
 - 常盤町二丁目・日赤前～ゆめタウン宇部～西ヶ丘 14
 - 八王子～新地～宇部駅・船本 20
 - 木田～厚東駅～宇部駅 29
 - 国道線 31
- 下関方面（サンデン交通）
 - 下関駅～小野田駅～おのだサンパーク 32
- コミュニティバス（船本鉄道）
 - 厚狭北部線 34
 - おたる号 35
 - いとね号 37
 - 高畑循環線 39

お問い合わせ先
 船本鉄道 0836-67-0074
 サンデン交通 083-282-0606
 宇部市交通局 0836-31-1133

山陽小野田市商工労働課

バス時刻表



デジタルサイネージ

取組事例2

交通事業者の担い手確保対策

○バスやタクシー運転士等、交通事業者の人材不足解消を図るため、山口労働局宇部公共職業安定所と連携し、交通・運輸関係事業所の合同面接会「さんようおのだミニ面接会」を開催する。

○県央連携都市圏域の7市町で、バス・タクシーの車両や現役運転士と接する機会を設け、公共交通事業への理解を促進し、終業へ結びつけることを目的として、「バス・タクシー運転士体験会 & 就業説明フェア」を開催する。

さんようおのだ ミニ面接会

主催 山陽小野田市・山口労働局・宇部公共職業安定所

◆日時 令和6年6月28日(金) 14:00~15:30
※受付開始13:40~

◆会場 Aスクエア 2階会議室 1A・1B
(山陽小野田市中央二丁目3番1号)

◆参加事業所 市内の交通・運輸分野事業所5社 (裏面参照)

◆対象者 交通・運輸分野のお仕事に興味のある方・就職希望の方
人材確保支援コーナー、キャリアアップ応援コーナー利用者

◆内容 1.参加者に向けた事業所PRタイム
2.希望するブースでの個別相談、面接

◆申込方法 前日までにハローワーク宇部1階総合受付又は山陽小野田市地域職業相談室に下記申込書をご提出いただくか、電話(ハローワーク宇部0836-31-0164(部門コード41号))で申込み下さい。

切取線

6月28日(金)さんようおのだミニ面接会(交通・運輸分野合同会社説明会&面接会)参加申込書

氏名	求職番号

さんようおのだミニ面接会

あなたの運転で、地域と笑顔をつなげてみませんか?

令和7年度 バス・タクシー 運転士体験会 & 就業説明フェア

運転士求む!!!

宇部会場 令和7年10月19日(日) 10:00~14:00 ※雨天決行
宇部中央自動車学校
宇部西町第一丁目8-31

山口会場 令和7年11月23日(日) 10:00~16:00 ※雨天決行
山口県湯田自動車学校
山口県第二丁目4-5-5

バス運転体験 要申込

対象 高校生以上60歳未満の方で、バス運転士が好きな興味のある方、就業を考えておられる方

バス・タクシー就業説明フェア
タクシー運転体験・車両操作見学会

タクシーの運転の体験や乗客の足音、メーター操作等の体験ができます。

伊達交通事業者 / 各県交通系、宇部市交通系、サンデン交通系、Jバス中興会、船木交通系、ブルーライン交通系、防基交通系、山口県央連携都市圏域内タクシー事業者各社

バス・タクシー運転士体験会 & 就業説明フェア

令和 8 年 1 月 8 日

中国運輸局長 様

山陽小野田市地域公共交通会議

会長 榊原 弘之

令和 7 年度 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る事業評価の送付について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成 23 年 4 月 1 日国総計第 5 号、国鉄財第 4 号、国自旅第 20 号、国海内第 8 号、国空環第 5 号）に基づき、令和 7 年度地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の事業評価を実施したので、事業評価票等を送付します。

<問い合わせ先>

（住 所）山陽小野田市日の出一丁目 1-1

（担当部署）山陽小野田市経済部商工労働課

（電話番号）0836 - 82 - 1150

（FAX 番号）0836 - 83 - 2604

（メールアドレス）shoukou@city.sanyo-onoda.lg.jp

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月8日

協議会名: 山陽小野田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小野田第一交通(株)	松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線 湯の峠・陽光台・山川線	・市のホームページや窓口での周知により、一層の利用促進に努めている。	A 事業は、計画どおり適切に実施された。	B ①1日あたりの利用者数 (松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線) 目標6人/日に対し、6.1人/日となり、目標値を上回った。 (湯の峠・陽光台・山川線) 目標14人/日に対し、7.5人/日となり、目標値を下回った。 ②収支率 目標8.6%に対し、5.7%となり、目標を下回った。 ③公的負担額 目標市民一人あたり110円/年に対し、142円/年となり、目標を下回った。	自治会を通じた周知に加え、民生委員やケアマネージャー等、地域に寄り添った活動をされている方へきめ細かい広報を行う。また、アンケート調査による利便性の向上等を通じ、利用者の拡大を図る。
小野田第一交通(株)	高泊地域	・市のホームページや窓口での周知により、一層の利用促進に努めている。	A 事業は、計画どおり適切に実施された。	B ①1日あたりの利用者数 輸送人員は目標6人/日に対し、6.3人/日となり、目標値を上回る結果となった。 ②収支率 目標3.9%に対し、3.8%となり、目標を下回った。 ③公的負担額 目標市民一人あたり95円/年に対し、104円/年となり、目標を下回った。	自治会を通じた周知に加え、民生委員やケアマネージャー等、地域に寄り添った活動をされている方へきめ細かい広報を行う。また、これまでの運行実績を踏まえ、あまり利用されていない時間帯の便の見直し等を行い、より効率的な運用を目指す。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

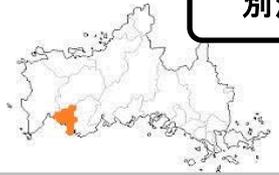
令和8年1月8日

協議会名:	山陽小野田市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>(松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線、湯の峠・陽光台・山川線) 当該地域は、人口減等に伴う利用者の減少を受けて民間事業者による路線バスが運行廃止となり、一部の区間においてみなし4条路線として「厚狭北部便」を運行しているが、地域的に山間の集落が多く、自宅からバス路線までの距離が遠いこともあって、バスの利用者は減少傾向にある。</p> <p>一方で、高齢化等によりマイカーを利用できず、日常生活における移動に支障をきたす人の数は増加することが見込まれ、地域に適した効果的・効率的な移動サービスの確保が課題となっている。</p> <p>こうした中、「山陽小野田市地域公共交通会議」において、厚狭北部地域にとって望ましい公共交通のあり方について検討を行い、平成27年1月から、当該地域でドアツードア方式のデマンド型乗合タクシーの運行を開始している。今後も、バス路線から離れた所に暮らす地域住民(高齢者や児童・生徒等)や、マイカーを自由に利用できない住民の通院・買い物・通学等を中心とした生活を守るためには、地域の周辺部から交通幹線に接続する結節点までの間を地域内フィーダー路線によって確保し、公共交通の利便性向上を図っていくことが不可欠である。</p> <p>(高泊地域) 当該地域は、コミュニティバス「高畑・高泊循環線」が運行していたが、1日当たりの乗車人数が少なく、経路の見直し等の必要となっていたが、道路幅が狭く、現状より広範にバス路線を拡大することが困難であった。</p> <p>このため、令和3年度、専門的な知識と豊富な経験を有するコンサルタント会社に業務委託を行い、3回に及ぶ地域住民との意見交換会の開催等を経て、新たなデマンド型乗合タクシーの運行計画を策定し、令和4年10月から実証運行を開始した。令和5年10月からは本格運行に移行した。今後も、適宜、利用者アンケート等により課題やニーズを把握し、運行方法等の見直しを行い、利用者の利便性向上を図っていくことが不可欠である。</p>

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

山陽小野田市地域公共交通会議

生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



山陽小野田市の概要

- ・平成17年3月に1市1町が合併
- ・人口 60,326人(令和2年国勢調査)
- ・面積 133.09km²

地域公共交通会議の構成員

山陽小野田市 山口県 船木鉄道(株) サンデン交通(株) 宇部市交通局 西日本旅客鉄道(株) 小野田第一交通(株) 山陽小野田タクシー協会 山口運輸支局 宇部国道維持出張所 宇部土木建築事務所 山陽小野田警察署 市民 学識経験者

概 要

本市では、鉄道や路線バス、コミュニティバス等が運行され、地域住民の日常生活における移動手段の確保を行っているが、高齢化の進展や合併に伴う生活圏の広域化等により市民の移動ニーズは多様化しており、こうしたニーズに対応した効率的、効果的な公共交通サービスの構築が必要となっている。

- ・ 厚狭北部地域においては、マイカーの普及や人口減等に伴う利用者の減少を受けて民間事業者による路線バスが運行廃止となり、現在、市が計画主体となって「厚狭北部便」を運行しているが、利用者は減少傾向にある。一方で、高齢化等によりマイカーを利用できず、日常生活における移動に支障をきたす高齢者は増加しており、地域に適した効果的・効率的な移動サービスの提供が課題となっている。こうした中、平成27年1月から、当該地域においてデマンド型交通の運行を開始し、市民の移動手段確保に努めている。
- ・ 高泊地域においては、コミュニティバス「高畑・高泊循環線」が運行していたが、1日当たりの乗車人数が少なく、経路の見直し等の必要となっていた。一方で、当該地区は道路幅が狭く、現状より広範にバス路線を拡大することが困難であった。

このため、地元住民の意見やニーズを十分に反映しながら、新たなデマンド型乗合タクシーの運行計画を策定し、令和4年10月から実証運行を開始した。令和5年10月からは本格運行に移行し、市民の移動手段確保に努めている。

協議会の主な取り組み

地域の需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送を確保し、その他旅客の利便の向上を図るため、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。

- ・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編
- ・路線バス再編後のフィーダー交通などの導入
- ・公共交通利用促進に向けた取組 など

協議会における検討

○協議会の開催状況

- ・第37回会議(令和7年6月12日)
 - 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
 - 地域間幹線系統確保維持計画(案)について 等
- ・第38回会議(令和8年1月8日)
 - 地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)に係る事業評価について 等

定量的な目標・効果

- (目標) ①1日あたりの利用者数 厚狭北部地域20人以上 厚狭北部1(松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線)6人以上
厚狭北部2(湯の峠・陽光台・山川線)14人以上
高泊地域6人以上
- ②収支率 現状(令和4年度値)以上 厚狭北部地域8.6%以上 高泊地域3.9%以上
- ③公的負担額 現状(令和4年度値)以下 厚狭北部地域110円/年以下 高泊地域95円/年以下

- (効果) ・高齢者や児童など、マイカーを自由に利用できない住民の日常生活(通院や買物等)における移動手段が確保できる。
・厚狭北部地域については結節点をJR厚狭駅にすることで、鉄道や広域路線バス、地域間幹線系統バスとの接続により、市街地などへの広域的な移動手段が確保できる。
・地域住民(特に高齢者)の外出機会の増加につながり、住民の健康福祉の増進、地域の活性化に寄与することができる。

昨年度の自己評価に 対するフォローアップ

- ・サービス内容のどういった見直しが可能か事業所と協議した。

実施した利用促進策

- ・利用者に対する運用サービスの改善を検討した。
- ・事業者と連携して利用者に対して事業周知を行った。

昨年度の運輸局二次評価に 対するフォローアップ

【二次評価への対応】

- ・目標が達成できなかった取組について、要因を分析し、引き続き関係者と連携協働を図り、より利便性の高い交通サービスが提供されることを期待する。(二次評価)
- 住民の意識啓発を図る観点から、利用登録者を対象としたアンケート調査を実施した。今後、広報等を充実させ、住民の認知度を高め、一層の利用促進につなげることとしている。

地域住民の意見の反映

- ・平成28年12月～平成29年1月 運行事業者を通じて利用者からの聞き取り調査を実施し、翌年度からの運行内容に反映させた。
- ・平成30年7月 デマンド運行エリア付近の公共交通不便地域自治会を対象に、アンケート及び聞き取り調査を実施し、運行エリアの拡大を図った。
- ・令和元年11月～令和2年1月に 運行事業者を通じて利用者からの聞き取り調査を実施し、翌年度からの運行便数増便を図った。
- ・令和3年2月～3月 利用者へのアンケート調査を実施し、満足度やダイヤ改正に関する要望調査を実施した。
- ・令和3年10月 山口大学において、現行のデマンド交通の利用状況や、災害時避難への活用可能性に係るアンケート調査を実施した。
- ・令和5年2月 利用登録者を対象に運用改善に向けたアンケート調査を実施した。
- ・令和5年10月 地元自治会の要望を踏まえ、新たに東下津自治会を追加した。

事業実施の適切性

○厚狭北部地域(厚狭北部1(松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線)、厚狭北部2(湯の峠・陽光台・山川線))

計画どおり実施されている。平成27年1月の運行開始から、利用者数、稼働率ともに順調に推移しており、地域内の日常生活を支える交通手段としての役割を十分に果たしている。また、平成31年1月から運行エリアを拡大、令和元年10月にはダイヤ改正及び増便、令和5年10月には、自治会からの要望を踏まえ新たに東下津自治会を追加するなど、更なる利用促進に努めている。

令和5年6月の大雨災害によりJR美祢線が被災し、以来運休が続いており、高齢化が進展し、免許返納者が累増していく中で、当該地域におけるデマンド型交通の必要性はますます高まっている。

○高泊地域

計画どおり運行されている。令和4年10月の実証運行開始から利用者数、稼働率ともに順調に推移しており、地域内の日常生活を支える交通手段としての役割を十分に果たしている。また、令和5年10月から本格運行を開始した。

目標・効果達成状況

①一日当たりの利用者数

・厚狭北部1(松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線)

目標6人/日に対し、6.1人/日であった。事業者と連携した周知により、昨年度(4.6人/日)より増加した。

・厚狭北部2(湯の峠・陽光台・山川線)

目標14人/日に対し、7.5人/日であった。コロナ禍による外出自粛の影響が長期化し、利用頻度の高い高齢者が死亡や施設入所したこと等により、目標値を下回り、昨年度(11.6人/日)から減少となった。

②収支率

[厚狭北部1(松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線)、厚狭北部2(湯の峠・陽光台・山川線)]

目標8.6%に対し、5.7%であった。物価や人件費の高騰等により運行経費が増加となっていることから、目標を下回る収支率となった。
(収入532,050円 ÷ 運行経費8,922,899円 ≒ 5.7%)

[高泊地域]

目標3.9%に対し、3.8%であった。物価や人件費の高騰等により運行経費が増加となっていることから、目標を下回る収支率となった。
(収入243,300円 ÷ 運行経費6,380,000円 ≒ 3.8%)

③公的負担額

[厚狭北部1(松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線)、厚狭北部2(湯の峠・陽光台・山川線)]

目標市民一人あたり110円/年に対し、142円/年であった。物価や人件費の高騰等により運行経費が増加となっていることから、目標を下回る公的負担額となった。(年間財政支出 8,390千円/年 ÷ 住民基本台帳人口58,871人 ≒ 142円/年)

[高泊地域]

目標市民一人あたり95円/年に対し、104円/年であった。物価や人件費の高騰等により運行経費が増加となっていることから、目標を下回る公的負担額となった。(年間財政支出 6,136千円/年 ÷ 住民基本台帳人口58,871人 ≒ 104円/年)

事業の今後の改善点

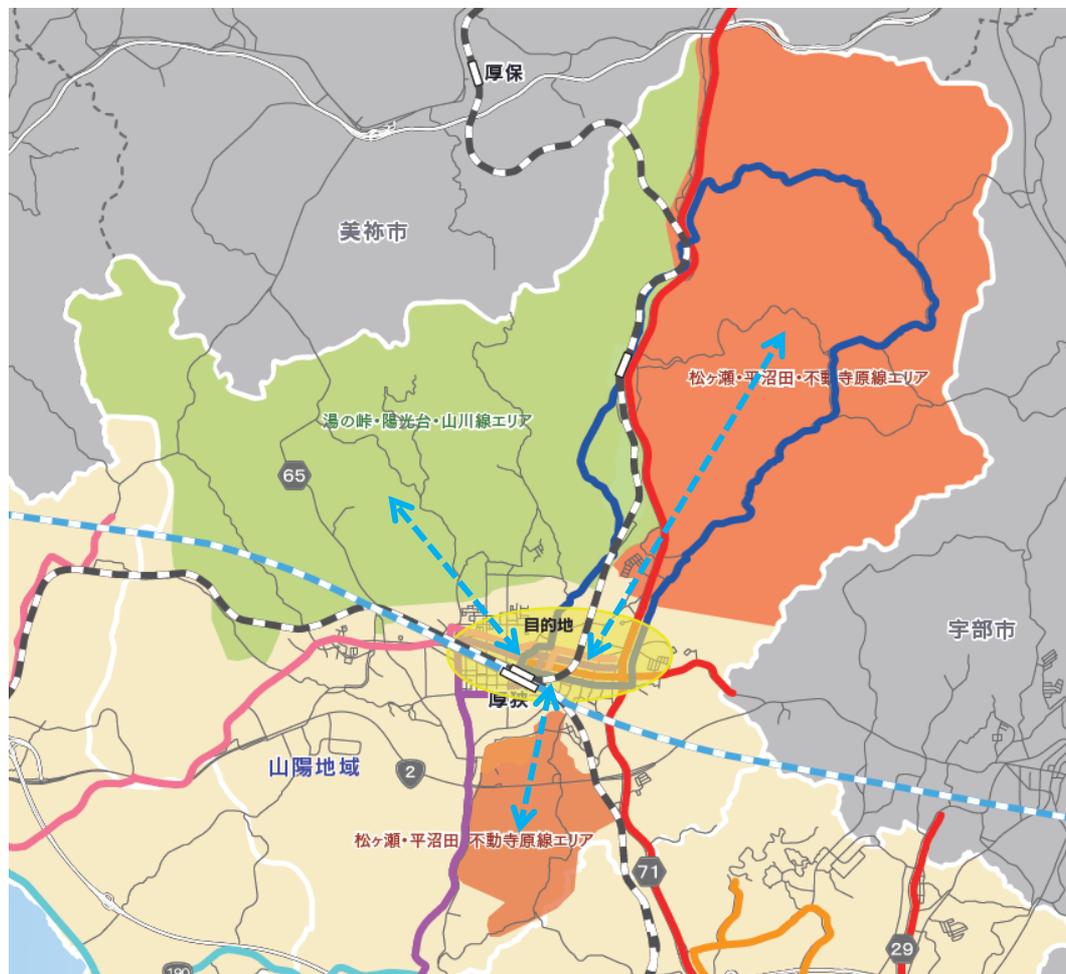
・目標に達していない系統があるため、引き続き、自治会を活用したきめ細かい広報や事業者と連携したPR、アンケート調査を実施するとともに、今後新たに民生委員やケアマネージャーなどの地域により沿った活動をされている方へも周知を行い、利用者の拡大を図る。

交通体系図 別紙

別添のとおり

運行系統図 別紙

系統名	①松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線	②湯の峠・陽光台・山川線
運行形態	市町村運営有償運送	
運行日・便数	月・水・金曜日(祝日・年末年始を除く)	
運賃	1乗車 300円(小学生以下は150円 1歳未満の乳児:無料)	



殿様号 山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー 松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線

運行日

月・水・金

祝日と年末年始(12/29~1/3)は運休します。

運賃

一乗車 **300円**

●1歳～小学生は150円、乳児は無料。

●身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けている者、及びこれらの者を介助する者は150円。

※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な回数券もどうぞ！

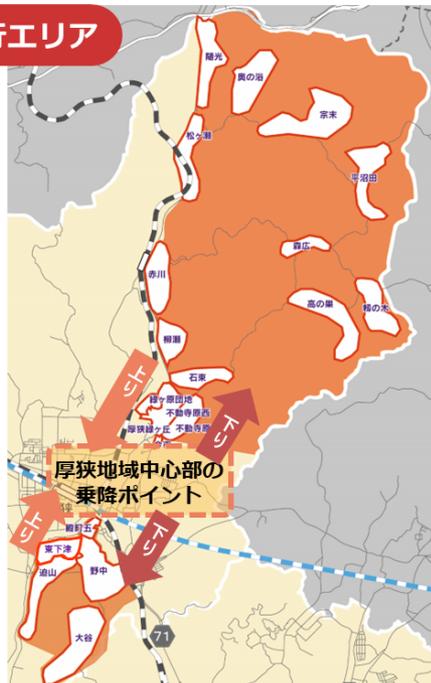
300円券 11枚つづり **3,000円**

150円券 11枚つづり **1,500円**

1乗車分 お得！

車内で販売します。

運行エリア



厚狭地域中心部の乗降ポイント

対象地域内のご自宅と厚狭中心部の乗降ポイント(右図の24ヶ所)の間を運行します。これ以外の場所では乗降できません。

時刻表

時刻は目安です。予約状況などにより変わることがあります。

お一人も予約がない場合は、運行しません。

上り				便名	下り			
1便	2便	3便	4便		1便	2便	3便	4便
8:00 締切7:30	9:00 締切8:30	11:30 締切11:00	13:30 締切13:00	柳瀬	↑	↑	↑	↑
				随光				
				粗の木				
				今市				
				厚狭地域中心部	10:30 締切10:00	12:30 締切12:00	14:30 締切14:00	15:30 締切15:00

厚狭地域中心部の乗降ポイント

- 1 厚狭駅 在来線口
- 2 厚狭駅 新幹線口
- 3 厚狭地区複合施設
- 4 不二輸送機ホール(※)
- 6 JA山口県厚狭支所
- 7 ウエスタまるき厚狭店
- 8 マックスバリュ厚狭店
- 9 マルキュウ厚狭店
- 10 厚狭郵便局
- 11 あさ歯科クリニック
- 12 厚狭セントヒル泌尿器科
- 13 あさひクリニック
- 15 河野内科
- 16 河村医院
- 17 久保整形外科医院
- 18 紫苑リハビリ内科クリニック
- 19 しもかど歯科
- 20 田中としろう眼科
- 21 たみたに内科・循環器科
- 22 てらい内科クリニック
- 23 耳鼻咽喉科伯野医院
- 24 はせがわ耳鼻科クリニック
- 25 吉武医院
- 26 吉武内科クリニック

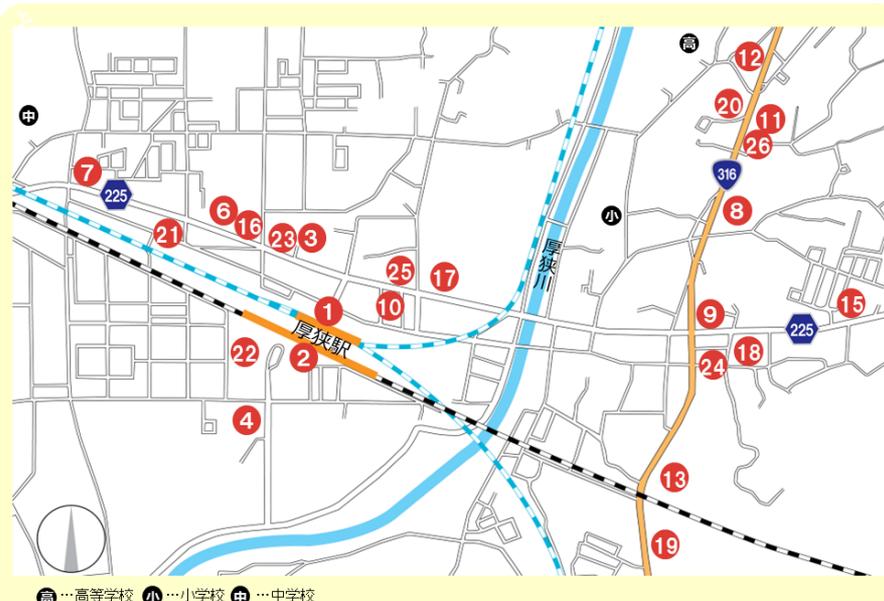
乗降場所標識



このマークが目印です！

各施設の出入口周辺を乗降場所としています。

※ = 山陽小野田市文化会館



高…高等学校 小…小学校 中…中学校

姫様号 山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー 湯の峠・陽光台・山川線

運行日

月・水・金
祝日と年末年始(12/29~1/3)
は運休します。

運賃

一乗車 300円

- 1歳~小学生は150円、乳児は無料。
 - 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けている者、及びこれらの者を介助する者は150円。
- ※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な回数券もどうぞ!

回数乗車券

300円乗車券

有効期限 90日

1乗車分
お得!

300円券
11枚つづり

3,000円

回数乗車券

150円乗車券

有効期限 H29年9月30日

150 途中下車前送無効

150円券
11枚つづり

1,500円

車内で販売します。

時刻表

時刻は目安です。予約状況などにより変わることがあります。
お一人も予約がない場合は、運行しません。

上り				便名	下り			
1便	2便	3便	4便		1便	2便	3便	4便
8:00 締切7:30	9:00 締切8:30	11:30 締切11:00	13:30 締切13:00	湯の峠	↑	↑	↑	↑
↓	↓	↓	↓	鴨庄上				
				鋳物師屋				
				山川				
				厚狭地域 中心部	10:30 締切10:00	12:30 締切12:00	14:30 締切14:00	15:30 締切15:00

運行エリア



対象地域内のご自宅と厚狭中心部の乗降ポイント(右図の26ヶ所)の間を運行します。これ以外の場所では乗降できません。

厚狭地域中心部の乗降ポイント

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 厚狭駅 在来線口 | 14 いたうクリニック |
| 2 厚狭駅 新幹線口 | 15 河野内科 |
| 3 厚狭地区複合施設 | 16 河村医院 |
| 4 不二輸送機ホール(※) | 17 久保整形外科医院 |
| 5 山陽勤労青少年ホーム | 18 紫苑リハビリ内科クリニック |
| 6 JA山口宇部厚狭支店 | 19 しもかど歯科 |
| 7 ウエスタまるき厚狭店 | 20 田中としろう眼科 |
| 8 マックスパリュ厚狭店 | 21 たみたに内科・循環器科 |
| 9 丸久厚狭店 | 22 てらい内科クリニック |
| 10 厚狭郵便局 | 23 耳鼻咽喉科伯野医院 |
| 11 あさ歯科クリニック | 24 はせがわ耳鼻科クリニック |
| 12 厚狭セントヒル泌尿器科 | 25 吉武医院 |
| 13 あさひクリニック | 26 吉武内科クリニック |

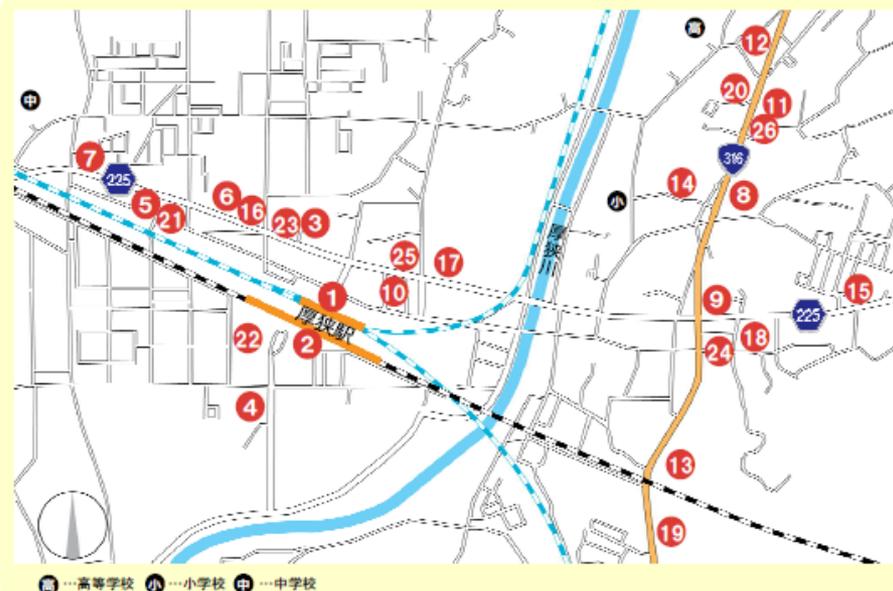
乗降場所標識



このマークが
目印です!

各施設の出入口周辺を
乗降場所としています。

※=山陽小野田市文化会館



運行日

月・水・金曜日

※祝日と年末年始（12/29～1/3）は運休します。

運賃

一乗車 **300円**（1名1回あたり）

●1歳以上～小学生以下は150円、1歳未満は無料。

●身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、及びこれらの方を介助する方は150円。

※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な回数券も！（車内で販売します）



時刻表

●9時便～14時便は、上り便(行き)、下り便(帰り)とも同様ですが、**8時便は上り便(行き)のみ、15時便は下り便(帰り)のみ**となります。

●お一人も予約がない場合は運行しません。

便名	8時便 (上り便のみ)	9時便	10時便	11時便	12時便	13時便	14時便	15時便 (下り便のみ)	
予約締切	7:30	8:30	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	
運行開始	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	
迎え時刻	乗降地点 A	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
	乗降地点 B	~	~	~	~	~	~	~	~
	乗降地点 C	8:15	9:15	10:15	11:15	12:15	13:15	14:15	15:15

※予約に心し、複数の乗降地点を巡回しますので、**運行開始時刻からお迎えまで10～15分お待ちさせることがあります。**あらかじめご了承ください。

お願い

- 通常のタクシーとの混同を避けるため、必ず「とまり号」の予約とお伝えください。
- 「とまり号」は乗合制です。他の利用者の迎えが遅延しますので、**各便の運行開始時刻**（9時便の場合は9:00）には、必ず各乗降地点までおいでください。
- 予約の変更・取り消しの際は、必ずご連絡ください。
- 下り便（帰り）は、**上り便（行き）とは別に予約が必要**です。買い物や受診等の用事が終了する時間を見越し、早めの予約をお願いします。
- 通常のタクシーと異なり、買い物や受診等の時間中、駐車場にてタクシーを待機させることはできません。
- 診療所は、昼休み時間に休診となり、院内で「とまり号」をお待ちいただくことができない場合がありますのでご注意ください。

山陽小野田市デマンド型交通(予約型乗合タクシー) (高泊地区)

『とまり号』利用ガイド 《令和6年3月版》

とまり号とは？

- ご自宅近くの乗り場と目的地（JR小野田駅～国道190号付近のスーパー、医療機関等）を結ぶ「予約型乗合タクシー」です。
- 所定の乗降地点でのみ乗り降りが可能です（詳細は裏面参照）。
- 利用するには、電話等での予約が必要です。

小野田第一交通コールセンター

0120-49-7489

(24時間365日予約受付)

WEB予約
はこちら



区域乗合

車体のこのステッカーが目印です。

ご利用のまえに



まずは、乗降地点の確認をお願いします

とまり号は、裏面の乗降地点でしか乗り降りできません。乗降地点の表示板は、**主に自治会の掲示板やゴミステーション等に掲示**してありますので、事前にご自宅近くの乗降地点の位置をご確認ください。

ご利用のながれ

1 予約する

電話等で予約してください。



「とまり号」の予約です。氏名は●●です。9時便に○人乗車します。乗降地点▲▲（乗り場）から■■（目的地）までお願いします。

2 予約受付

予約を受け付けます。



かしこまりました。9時に乗降地点▲▲へ伺います。予約状況によって、10～15分間お待ちいただきますが、ご了承ください。

3 お迎え

ご指定の乗降地点に「とまり号」が到着します（予約に応じて、複数の乗降地点を巡回します）。



4 目的地へ

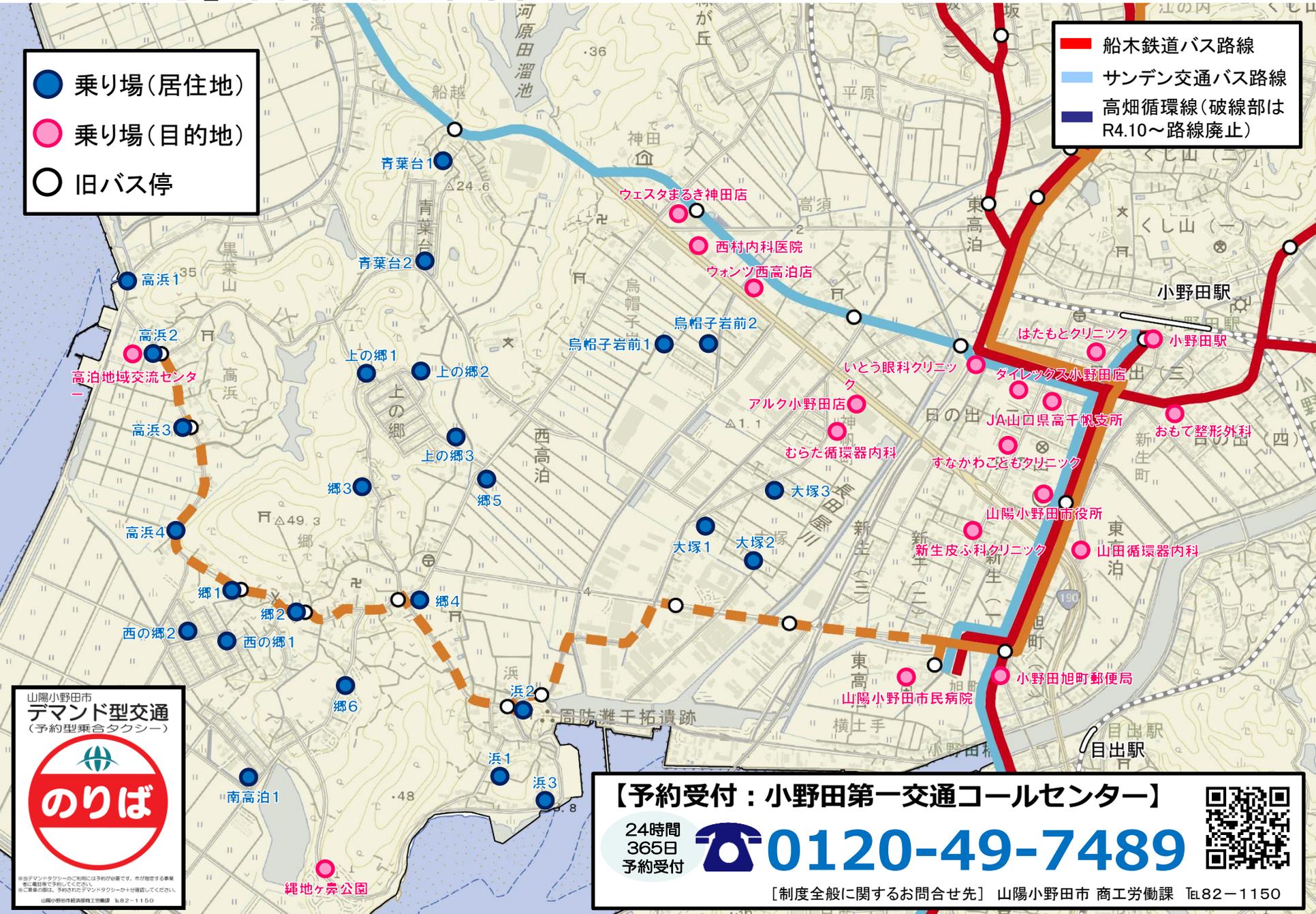
降りる際、運賃をお支払いください。身体障害者手帳等交付者は手帳の提示をお願いします。



「とまり号」乗降地点配置図

- 乗り場(居住地)
- 乗り場(目的地)
- 旧バス停

- 船木鉄道バス路線
- サンデン交通バス路線
- 高畑循環線(破線部はR4.10~路線廃止)



山陽小野田市
デマンド型交通
(予約型集合タクシー)

のりば

※当デマンドタクシーのご利用には予約が必要です。市が指定する乗車時間と乗車人数で予約ください。
※ご乗車の際は、予約されたデマンドタクシーへ十分確認してください。
山陽小野田市中核部局内工務課 TEL82-1150

【予約受付：小野田第一交通コールセンター】

24時間
365日
予約受付

☎ 0120-49-7489

[制度全般に関するお問合せ先] 山陽小野田市 商工労働課 TEL82-1150



殿様号(松ヶ瀬、平沼田、不動寺原線)

<令和6年10月～令和7年9月運行分>

運行日数の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	稼働率
計画運行日数	12	12	12	11	11	13	13	12	13	12	12	12	145	99.3%
実運行日数	11	12	12	11	11	13	13	12	13	12	12	12	144	

運行回数の推移

(1日の運行回数:8回)

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	稼働率	
上り	8:00	1	3	3	0	0	2	1	2	4	2	1	1	20	13.8%
	9:00	5	6	8	10	9	10	11	10	10	11	10	11	111	76.6%
	11:30	5	8	8	5	6	5	5	8	7	6	4	7	74	51.0%
	13:30	5	6	9	7	6	11	8	8	10	8	10	9	97	66.9%
下り	10:30	4	4	4	3	2	9	9	5	8	11	4	8	71	49.0%
	12:30	5	6	6	6	6	2	3	7	8	7	5	6	67	46.2%
	14:30	1	2	4	2	4	3	1	3	6	5	5	5	41	28.3%
	15:30	4	5	6	6	4	10	7	7	8	4	5	5	71	49.0%
合計	30	40	48	39	37	52	45	50	61	54	44	52	552	47.6%	

輸送人員の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	1日あたり	
上り	8:00	1	6	4	0	0	2	2	2	4	2	2	1	26	0.2
	9:00	6	7	10	15	16	20	19	15	21	30	22	21	202	1.4
	11:30	8	11	13	11	10	7	6	9	9	9	9	10	112	0.8
	13:30	10	11	15	10	7	17	15	16	19	12	16	15	163	1.1
下り	10:30	4	5	7	3	5	12	11	9	13	18	6	10	103	0.7
	12:30	7	9	9	11	10	2	6	6	10	11	9	9	99	0.7
	14:30	1	3	7	3	4	4	1	5	5	9	9	7	58	0.4
	15:30	9	8	7	9	5	18	11	10	13	5	7	7	109	0.8
合計	46	60	72	62	57	82	71	72	94	96	80	80	872	6.1	

1日あたり輸送人員の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
昨年度	4.3	3.5	4.6	3.7	5.0	4.2	3.6	4.2	3.7	4.8	4.7	5.6	4.6
今年度	4.2	5.0	6.0	5.6	5.2	6.3	5.5	6.0	7.2	8.0	6.7	6.7	6.1
増加率	-2.7%	42.9%	30.4%	52.3%	3.6%	50.2%	51.7%	42.9%	95.4%	66.7%	41.8%	19.0%	31.6%

令和6年10月から令和7年9月までの稼働率 47.6%

令和6年10月から令和7年9月までの1日あたり輸送人員 6.1人

姫様号(湯の峠・陽光台・山川線)

<令和6年10月～令和7年9月運行分>

運行日数の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	稼働率
計画運行日数	12	12	12	11	11	13	13	12	13	12	12	12	145	99.3%
実運行日数	11	12	12	11	11	13	13	12	13	12	12	12	144	

運行回数の推移

(1日の運行回数:8回)

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	稼働率	
上り	8:00	6	6	9	5	5	9	5	8	6	7	8	7	81	55.9%
	9:00	12	11	11	11	10	13	13	12	12	12	12	12	141	97.2%
	11:30	7	9	9	8	4	5	5	2	0	3	5	4	61	42.1%
	13:30	4	3	2	4	4	2	3	6	7	6	5	7	53	36.6%
下り	10:30	12	11	9	10	8	13	11	12	13	10	11	12	132	91.0%
	12:30	9	8	8	8	6	5	7	9	5	6	8	7	86	59.3%
	14:30	5	4	4	6	6	4	7	6	7	4	4	4	61	42.1%
	15:30	4	5	5	1	4	4	3	0	0	3	5	2	36	24.8%
合計	59	57	57	53	47	55	54	55	50	51	58	55	651	56.1%	

輸送人員の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	1日あたり	
上り	8:00	8	6	10	5	6	12	7	10	7	10	11	7	99	0.7
	9:00	36	29	23	26	27	32	30	28	29	28	35	33	356	2.5
	11:30	8	11	10	9	3	5	5	2	0	3	7	4	67	0.5
	13:30	5	4	3	5	5	3	6	8	7	7	7	9	69	0.5
下り	10:30	27	22	16	14	17	27	20	23	18	22	29	27	262	1.8
	12:30	11	12	11	12	8	6	8	9	6	9	13	8	113	0.8
	14:30	8	4	8	7	6	4	8	7	9	5	4	5	75	0.5
	15:30	5	4	5	1	5	4	3	0	0	3	5	2	37	0.3
合計	108	92	86	79	77	93	87	87	76	87	111	95	1,078	7.5	

1日あたり輸送人員の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
昨年度	12.9	11.8	13.1	12.2	10.1	14.8	14.1	12.6	10.8	9.1	8.0	9.5	11.6
今年度	9.8	7.7	7.2	7.2	7.0	7.2	6.7	7.3	5.8	7.3	9.3	7.9	7.5
増加率	-23.9%	-35.0%	-45.3%	-41.1%	-30.7%	-51.7%	-52.5%	-42.5%	-45.9%	-20.3%	15.6%	-16.7%	-35.5%

令和6年10月から令和7年9月までの稼働率 56.1%

令和6年10月から令和7年9月までの1日あたり輸送人員 7.5人

とまり号(高泊地区)

<令和6年10月～令和7年9月運行分>

運行日数の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	稼働率
計画運行日数	12	12	12	11	11	13	13	12	13	12	12	12	145	98.6%
実運行日数	12	12	12	11	10	13	13	12	13	12	11	12	143	

運行回数の推移

(1日の運行回数:14回)

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	稼働率	
上り	8:00	1	2	3	1	0	3	0	1	3	1	3	1	19	13.1%
	9:00	11	8	8	6	8	6	9	12	7	11	11	9	106	73.1%
	10:00	9	8	8	7	4	9	11	8	11	13	11	14	113	77.9%
	11:00	7	4	10	6	5	5	2	6	5	7	4	6	67	46.2%
	12:00	3	2	2	3	1	5	3	6	3	3	1	5	37	25.5%
	13:00	6	3	3	2	0	1	5	2	2	2	2	4	32	22.1%
	14:00	2	3	1	3	2	4	6	2	1	3	2	1	30	20.7%
下り	9:00	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1.4%	
	10:00	4	3	2	2	1	2	2	1	2	4	5	1	29	20.0%
	11:00	4	2	3	2	2	3	3	5	4	3	5	4	40	27.6%
	12:00	3	1	7	3	3	4	2	3	5	6	6	4	47	32.4%
	13:00	4	5	4	6	2	6	4	6	5	4	3	3	52	35.9%
	14:00	3	1	3	0	0	2	3	2	2	1	2	0	19	13.1%
	15:00	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	6	4.1%
合計	57	42	54	42	29	51	50	54	51	59	56	54	599	29.5%	

輸送人員の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	1日あたり	
上り	8:00	2	4	4	1	0	3	0	1	4	1	7	1	28	0.2人
	9:00	18	19	14	9	15	14	19	21	17	23	22	17	208	1.5人
	10:00	15	9	12	15	5	19	18	15	13	25	17	30	193	1.3人
	11:00	8	6	12	5	6	7	2	8	6	9	5	10	84	0.6人
	12:00	4	2	5	3	2	7	3	8	3	4	1	6	48	0.3人
	13:00	7	4	3	3	0	2	5	2	2	3	2	4	37	0.3人
	14:00	3	7	2	2	3	5	9	4	2	5	3	1	46	0.3人
下り	9:00	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0.0人	
	10:00	7	4	2	2	3	4	3	1	3	6	8	2	45	0.3人
	11:00	6	3	3	2	2	3	3	11	7	3	10	6	59	0.4人
	12:00	4	1	10	3	4	5	2	3	6	6	8	6	58	0.4人
	13:00	4	5	6	7	4	9	4	8	5	6	3	3	64	0.4人
	14:00	3	1	3	0	0	2	4	3	2	1	2	0	21	0.1人
	15:00	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	2	1	7	0.0人
合計	81	65	76	53	45	81	72	85	71	93	90	88	900	6.3人	

1日あたり輸送人員の推移

便	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
昨年度	8.5	4.8	5.5	6.5	7.0	7.6	6.7	7.1	6.5	5.9	7.0	9.0	6.8
今年度	6.8	5.4	6.3	4.8	4.5	6.2	5.5	7.1	5.5	7.8	8.2	7.3	6.3
増加率	-21.0%	14.0%	16.1%	-25.4%	-35.7%	-18.0%	-16.9%	0.0%	-16.6%	30.8%	16.9%	-18.5%	-7.4%

令和6年10月から令和7年9月までの稼働率 29.5%

令和6年10月から令和7年9月までの1日あたり輸送人員 6.3人

JR厚狭駅におけるエレベーターの整備について

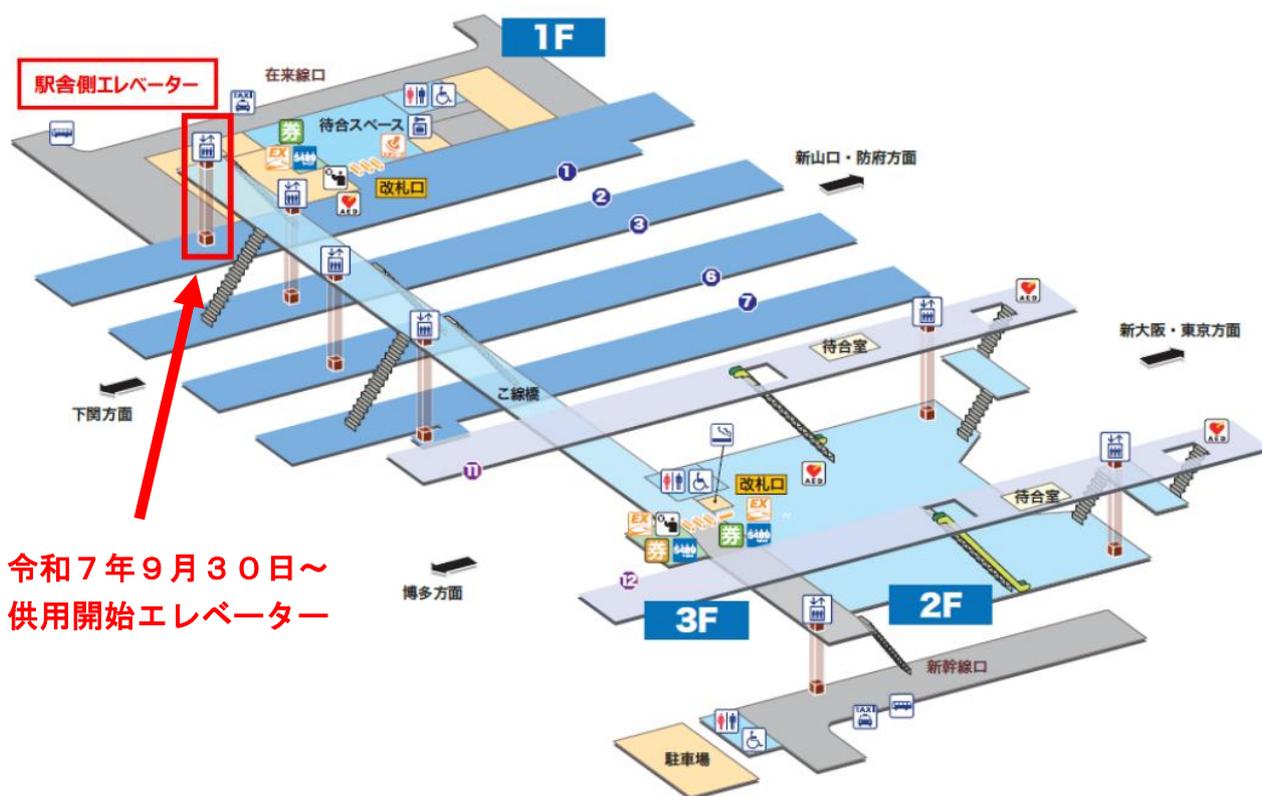
1 趣 旨

国のバリアフリー法に基づき、令和2年度から、JR厚狭駅において鉄道施設のバリアフリー化工事が実施されてきたが、在来線口エレベーターの整備等が完了し、供用開始となったもの。

2 エレベーターの概要（JR厚狭駅在来線口）

○1番線乗り場

3 供用開始 令和7年9月30日（火）から



小野田線沿線地域の公共交通活性化に向けた実証事業について

JR小野田線活性化委員会および西日本旅客鉄道株式会社は、小野田線沿線地域の公共交通の利便性を高め、活性化を図ることを目的として以下のとおり実証事業を行います。

1. 実証事業の概要

小野田線沿線地域（山陽小野田市域）において、鉄道と路線バスの連携により乗車チャンスを増加させることや、公共交通が運行されていない夜間時間帯に列車を増発運行することで公共交通の利便性を高め、沿線地域の公共交通の活性化を図るとともに、ご利用ニーズを調査します。

2. 実証事業の期間

2025年10月1日（水）～2026年3月31日（火）

3. 実証内容

（1）JR定期券による鉄道とバスの共通乗車

- ・小野田線 小野田～雀田～長門本山間を含む通勤・通学定期券をお持ちのお客様が対象（ご利用には、JR西日本の移動生活ナビアプリ「WESTER」で参加登録した、NFC対応のスマートフォンが必要となります）
- ・JR定期券とWESTERアプリの利用で、小野田線と並行する区間において船木鉄道（株）が運行する船鉄バスにも乗車可能（対象範囲は別紙をご覧ください）

※具体的なご利用方法は、9月中旬を目途に改めてお知らせいたします

（2）小野田線列車の増発運行

小野田線では、実証事業の期間中、宇部新川～小野田間に夜間に1往復増発します

主な駅の発着時刻（宇部新川～小野田間の各駅に停車します）

運行区間	宇部新川		雀田		小野田	運転日
宇部新川→小野田	21:13 発	→	21:26 発	→	21:42 着	10/1～来年 3/31までの 毎日
小野田→宇部新川	22:47 着	←	22:35 発	←	22:19 発	

注）時刻は、今後のダイヤ改正に合わせて変更する場合があります

別紙

J R 定期券による鉄道とバスの共通乗車エリア

(青線部分の区間を含む JR 通勤・通学定期券で、赤線部分の船鉄バスに乗りいただけます)



第 1 回 美祢線沿線地域公共交通協議会

令和 7 年 1 0 月 2 0 日 (月) 1 4 : 3 0

山口県庁 4 階共用第 1 会議室

**J R 美祢線に係る経緯及び
美祢線沿線地域公共交通協議会について**

1 JR美祇線に係る経緯

- R5.6 6月29日から7月1日にかけての豪雨によりJR美祇線全線が運休
- R6.8 JR美祇線利用促進協議会に「復旧検討部会」を設置し、鉄道による復旧と鉄道以外による復旧について検討を開始
※代行バス実証快速便を運行（増便、快速便の運行等について実証）
- R7.5 JR美祇線利用促進協議会総会で「復旧検討部会」の検討結果を報告
- R7.7 JR美祇線利用促進協議会の臨時総会を開催し、復旧に係る期間や、利便性等を踏まえ、協議会として「鉄道以外のモードによる復旧を考えていくこと」「県と沿線3市とで速やかに協議を行うこと」との方向性を整理
- R7.8 県・沿線3市の協議で、「BRTによる復旧を目指す」こと、「地域交通法に定める計画策定のため、県・3市が共同で法定協議会を新たに設置し、関係者との調整を進めていく」ことについて合意

2 美祢線沿線地域公共交通協議会

(1) 設置趣旨

J R 美祢線が担ってきた交通機能の早期回復等を図るため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第1項の規定に基づき、美祢線沿線地域公共交通計画の策定及び実施に関し必要な協議を行う協議会を設置する。

(2) 設置日 令和7年10月7日

(3) 設置主体 山口県、美祢市、長門市、山陽小野田市

(4) 主な業務 地域公共交通計画の作成及び実施、利用促進

(5) 委員 23名

会長：山口県副知事、副会長：美祢市長、長門市長、山陽小野田市長

(6) その他

- 協議会の事務局は県に設置
- 協議会の下に、利用促進に係る部会を設置し、これまでのJ R 美祢線利用促進協議会の取組を承継

【議案第3号】

地域公共交通計画について

1 法定の計画記載内容

■ 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 (平成19年法律第59号) 第5条

- 地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
- 区域、目標、期間
- 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項
- 地域公共交通計画の達成状況の評価に関する事項

2 地域公共交通計画の記載事項

「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き（国土交通省）」より

項目	概要
基本的な方針	計画が目指すべき将来像と、その中で公共交通が目指すべき役割を明確化し、取組の方向性を定める。 また、まちづくり、観光振興等の様々な分野との連携を整理する。 ▶ BRTで復旧する方向で計画策定作業を進めていく
計画の区域	当該地域の交通圏の範囲を基に計画の区域を設定する。 ▶ 美祢線沿線の地域を想定
計画の目標	上記基本的な方針に即して目標を設定する。
事業及び実施主体	目標達成のために提供されるべき地域旅客運送サービスの全体像・具体的なサービス水準を定める。併せて、その実現に必要な事業・実施主体を整理する。
計画の達成状況の評価	達成状況の評価計画と評価を踏まえた見直し方針を立てる。
計画期間	原則 5 年程度だが、地域の実情に合わせて設定する。 ▶ 10年を想定

＜参考＞ 利便増進実施計画

地域公共交通計画に加え、その実行計画となる利便増進実施計画を策定予定

【計画に盛り込む主な内容】

- ・ 実施区域
- ・ 事業の内容・実施主体
- ・ 地方公共団体による支援の内容
- ・ 実施予定期間
- ・ 事業実施に必要な資金の額・調達方法
- ・ 事業の効果 等

※社会資本整備総合交付金を活用するためには、両計画の策定が必要

※社会資本整備総合交付金の都市・地域交通戦略推進事業の活用を見据え、要件となる「総合交通戦略」の必要記載項目を網羅した形で策定予定

船鉄バスのダイヤ改正について

資料 6

船木鉄道（株）において、本年度に入り新たな運転士の採用人数が増加となり、昨年度の運転士不足の状況が概ね解消となったことから、令和7年10月のダイヤ改正で昨年度減便した便を中心に可能な限り増便等を行ったもの。

○船木 → 本山岬・宇部中央方面〔平日〕

線区	系統	改正前	改正後
小野田線	船木 → 理科大前・本山岬	15	15
	宇部駅・際波台・小野田駅 → 理科大前	7	10
	ひばりが丘 → 叶松団地	3	7
厚狭線	船木 → 厚狭駅	10	10
	小野田駅・厚狭駅 → 宇部中央	11	11
合計		46	53

○船木 → 本山岬・宇部中央方面〔土日祝〕

線区	系統	改正前	改正後
小野田線	船木 → 理科大前・本山岬	12	13
	宇部駅・際波台・小野田駅 → 理科大前	7	8
	ひばりが丘 → 叶松団地	3	5
厚狭線	船木 → 厚狭駅	9	9
	小野田駅・厚狭駅 → 宇部中央	10	10
合計		41	45

○本山岬・宇部中央 → 船木方面〔平日〕

線区	系統	改正前	改正後
小野田線	本山岬 → 宇部駅・船木	14	16
	理科大前 → 際波台・宇部駅・船木	8	10
	叶松団地 → ひばりが丘	4	7
厚狭線	厚狭駅 → 船木	9	10
	宇部中央 → 小野田駅・厚狭駅	11	12
合計		46	55

○本山岬・宇部中央 → 船木方面〔土日祝〕

線区	系統	改正前	改正後
小野田線	本山岬 → 宇部駅・船木	13	13
	理科大前 → 際波台・宇部駅・船木	7	8
	叶松団地 → ひばりが丘	4	6
厚狭線	厚狭駅 → 船木	8	8
	宇部中央 → 小野田駅・厚狭駅	9	9
合計		41	44

NEWS RELEASE

2025年12月15日

各位

船木鉄道株式会社
 ブルーライン交通株式会社
 三井住友カード株式会社
 株式会社ジェーシービー
 レシップ株式会社
 株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス
 株式会社ニモカ
 QUADRAC 株式会社

山口県初！船鉄バス・ブルーライン交通バスにて クレジットカード等の「タッチ決済」による乗車サービスを開始します

船木鉄道株式会社（本社：山口県宇部市、代表取締役社長：田中 敬一、以下：船鉄バス）、ブルーライン交通株式会社（本社：山口県下関市、代表取締役社長：伊藤 修、以下：ブルーライン交通）、三井住友カード株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長執行役員 CEO：大西 幸彦、以下：三井住友カード）、株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長：二重 孝好）、レシップ株式会社（本社：岐阜県本巣市、代表取締役社長：北野 元昭）、株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大高 敦、以下 TMN）、株式会社ニモカ（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：田端 敦）、QUADRAC 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高田 昌幸、以下：QUADRAC）は、2026年2月2日（月）より、船鉄バスおよびブルーライン交通が運行する路線バスにおいて、三井住友カードの公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用したクレジットカード等^(※)のタッチ決済による乗車サービスを開始します。あわせて、TMNの決済ゲートウェイサービスを活用し、電子マネーおよび QR・バーコード決済の対応を開始します。

本件は山口県内の交通事業者としては初めての導入となり、これにより 45 都道府県でタッチ決済乗車サービスの利用が可能になります。訪日外国人利用者をはじめ、国内のお客さまにも普段使い慣れているクレジットカード等でのタッチ決済でスムーズにバスをご利用いただける環境を提供することで、さらなる公共交通利用促進を図ってまいります。

(※) タッチ決済対応のカード（クレジット、デビット、プリペイド）や、カードが設定されたスマートフォン等



■背景

船鉄バス・ブルーライン交通は、地域の生活交通を担う路線バスとして、長年にわたり多くのお客さまにご利用いただいております。これまで運賃のお支払いは現金及び磁気式バスカードの対応となっておりますが、近年のキャッシュレス化の進展や訪日外国人の増加、さらには現金の取り扱いに伴う運行効率の課題を背景に、利便性向上と地域のキャッシュレス推進を目的として、タッチ決済による乗車サービスを導入することとなりました。

三井住友カードの「stera transit」は全国各地の交通事業者で導入が進んでおり、今回、山口初のサービス導入により、導入公表事業数は全国 45 都道府県 193 事業となります。今後も、交通課題の解決に向けて交通事業者や地域の皆さまと連携し支援を続けてまいります。

【概要】

サービス開始日	2026年2月2日（月）
対象路線	船鉄バス：船鉄バスが運行する宇部市内、山陽小野田市内、美祢市内の路線、 コミュニティバス ブルーライン交通：全路線「下関市（豊北町・豊浦町・豊田町）、美祢市、長門市」
対応決済手段	クレジットカード等のタッチ決済に加え、電子マネー／QR・バーコード決済にも対応します。 ※交通系 IC カードはご利用になれません。
タッチ決済	Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯 ※タッチ決済対応のカード（クレジット、デビット、プリペイド）や、カードが設定されたスマートフォン等
電子マネー決済	WAON、nanaco
QR・バーコード決済	楽天ペイ、PayPay、d 払い®、メルペイ、au PAY、AEON Pay、Alipay、Wechat Pay

※「WAON」「AEON Pay」は、イオン株式会社の登録商標です。 ※「nanaco」は、株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。 ※「楽天ペイ」は、楽天グループ株式会社の登録商標です。 ※「PayPay」は、PayPay 株式会社の登録商標です。 ※「d 払い」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。 ※「メルペイ」は、株式会社メルカリの登録商標です。 ※「au PAY」は、KDDI 株式会社の登録商標です。 ※「AEON Pay」は、イオン株式会社の登録商標です。 ※「Alipay+」は、アドバンスト ニュー テクノロジーズ カンパニー リミテッドの登録商標です。 ※「WeChat Pay」は、テンセントホールディングスリミテッドの登録商標です。

■決済方法

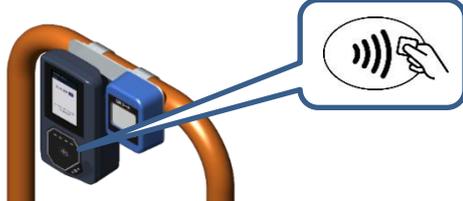
・船鉄バス

◎多区運賃路線車両の場合

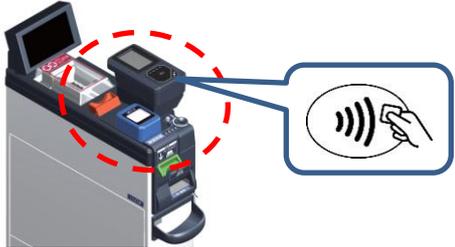
乗車時	降車時
タッチ決済の場合	
<p>・乗口付近に設置している専用端末に、お手持ちのタッチ決済対応カードやカードが設定されたスマートフォン等をかざしてください。</p> 	<p>・降口付近の専用端末に、乗車時にかざしたカードやスマートフォン等を再度かざしていただくと、決済が完了します。</p> 

電子マネー/QR・バーコード決済の場合	
<p>・乗車時に整理券をお取りください。</p>	<p>・整理券を運転士に見せた後、決済手段を選択してください。</p> <p>・電子マネーはカード読み取り部にタッチ、QR・バーコードはカメラにかざしていただくと、決済が完了します。</p> 

◎均一運賃路線車両の場合

乗車時	降車時
タッチ決済の場合	
<p>・乗降口付近の専用端末に、カードやスマートフォン等をかざしていただくと、決済が完了します。</p> 	<p>・そのまま降車してください。</p>
電子マネー/QR・バーコード決済の場合	
<p>・決済手段を選択し、電子マネーはカード読み取り部にタッチ、QR・バーコードはカメラにかざしていただくと、決済が完了します。</p> 	<p>・そのまま降車してください。</p>

・ブルーライン交通

乗車時	降車時
タッチ決済の場合	
<p>・乗口付近の専用端末に、お手持ちのタッチ決済対応カードやカードが設定されたスマートフォン等をかざしてください。</p> 	<p>・降口付近に設置している端末に、乗車時にかざしたカードやスマートフォン等で再度かざしていただくと、決済が完了します。</p> 
電子マネー/QR・バーコード決済の場合	
<p>・乗車時に整理券をお取りください。</p>	<p>・整理券を運転士に見せた後、決済手段を選択してください。</p> <p>・電子マネーはカード読み取り部にタッチ、QR・バーコードはカメラにかざしていただくと、決済が完了します。</p> 

【タッチ決済乗降履歴確認方法】

交通事業者向け決済及び認証のプラットフォームを提供するQUADRACのQ-moveサイト(<https://q-move.info/>)にアクセスいただき、「マイページ」の会員登録手続きの後ご覧いただけます。



The screenshots show the Q-move website interface. The first screenshot is the login page with fields for email and password. The second screenshot is the main dashboard showing a transaction summary for 2026/02/01 with a total amount of 440 yen. The third screenshot is a detailed trip history confirmation screen for the same date, showing a train/bus trip from 17:40 at 船木 station to 17:56 at 宇部駅, with a total amount of 440 yen.

【タッチ決済について】

タッチ決済は、国内外で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）または、カードが設定されたスマートフォン等をタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要^(※)で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用いただける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設等の店舗だけでなく、公共交通機関への導入も進む等、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。

※一定金額以上のお支払いの場合は、サインまたは IC カードの挿入と暗証番号入力等の本人確認が必要となることがあります。



【stera transit について】

(URL : <https://www.smbc-card.com/kamei/steratransit/index.jsp>)

stera
transit

決済プラットフォーム「stera」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMO ペイメントゲートウェイ・GMO フィナンシャルゲートおよび Visa と共同で構築した事業者向け決済プラットフォームです。「stera transit」は、「stera」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」等、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「stera transit」の技術は、MaaS やスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しております。

■ 共同事業者の役割

船木鉄道株式会社	路線バスの運行およびタッチ決済を活用した企画の実施
ブルーライン交通株式会社	路線バスの運行およびタッチ決済を活用した企画の実施
三井住友カード株式会社	キャッシュレス決済導入支援、stera プラットフォーム提供(stera transit)、Visa、Mastercard、銀聯のタッチ決済に関する導入支援・認知プロモーション
株式会社ジーシービー	キャッシュレス決済導入支援、JCB および American Express、Diners Club、Discover のタッチ決済に関する導入支援・認知プロモーション
レシップ株式会社	キャッシュレス決済システムおよび機器の提供・開発・メンテナンス
株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス	TMNクラウド型決済ゲートウェイによる電子マネーおよび QR・バーコード決済サービスの提供
株式会社ニモカ	キャッシュレス決済導入支援、導入におけるプロジェクトマネジメント、交通乗車手段に関する総合的なアドバイス
QUADRAC 株式会社	交通事業者向け決済および認証に関する SaaS 型プラットフォーム “Q-move”の提供

【補足】

■ バスカードの取り扱い終了について



タッチ決済や電子マネー／QR・バーコード決済等の新しい乗車サービス開始に伴い、お客さまにご利用いただいているバスカードは一部併用期間を設けつつ、段階的に取り扱いを終了いたします。現在バスカードをお持ちの方や、これからバスカードをご購入される方ご注意ください。

～2026年1月31日 バスカードの発売を終了

～2026年4月30日 バス車内での取り扱いを終了

2026年5月1日～ バスカードの払い戻し受付開始

～2031年4月30日 バスカードの払い戻し対応終了

以 上

◆本件(ニュースリリース)に関するお問い合わせ先◆

- ・船木鉄道株式会社 / 自動車部 業務課 TEL : 0836-67-0321
- ・ブルーライン交通株式会社 / TEL : 083-786-0059
- ・三井住友カード株式会社 / 経営企画部 広報室 TEL : 03-6365-0511
- ・株式会社ジェーシービー / 広報部 TEL:03-5778-8353
- ・レシップホールディングス株式会社 / 経営管理部 TEL : 058-324-3121
- ・株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス / 広報 TEL : 03-3517-3800
- ・株式会社二モカ / 営業推進課 TEL : 092-303-7610
- ・QUADRAC 株式会社 / 事務統括部 TEL : 03-6455-4830